

平成 30 年 度

福岡市交通安全実施計画の主な実績

福岡市交通安全対策会議

# 目 次

交通安全施設等整備事業（公安委員会）	1
交通安全施設等の現況（公安委員会）	1
交通安全施設等整備事業（福岡国道事務所）	2
交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）	2
交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）	3
交通安全施設等整備事業（福岡北九州高速道路公社）	3
交通安全施設等整備事業（福岡市港湾空港局）	3
効果的な交通規制（公安委員会）	
（1）交通事故抑止対策としての交通規制	4
（2）交通規制の見直し	4
（3）新設（改良）道路の安全対策としての交通規制	4
（4）自転車通行の安全対策としての交通規制	5
駐車対策（福岡市道路下水道局）	
「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受けた 附置義務駐車施設や駐車場法に基づく届出（路外）駐車場の整備	5
交通需要マネジメントの推進（福岡市住宅都市局）	5
道路使用の適正化	
路上における違法掲出広告物 （はり紙、はり札、立看板）の除去作業（福岡市住宅都市局）	6
自転車駐車対策	
市営自転車駐車場整備状況（福岡市道路下水道局）	6
子供の遊び場等の確保	
（1）街区公園等の整備（福岡市市民局・住宅都市局）	7
（2）校庭開放（福岡市こども未来局）	7
危険物運搬車両等の立入検査及び危険物取扱者保安講習（福岡市消防局）	7
児童・生徒・高齢者等に対する交通安全教育	
（1）交通安全教室（福岡市市民局）	8
（2）保健・安全教育担当者連絡会（福岡市教育委員会）	8
（3）子どもの交通安全に関する配付物（福岡市市民局）	8
広報活動の充実（福岡市市長室・市民局）	9
自動車事故対策機構による自動車運送事業等に従事する 運転者に対する適性診断（九州運輸局福岡運輸支局）	10
自動車運送事業者の行う運行管理等の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	10
気象情報等の充実（福岡管区气象台）	11
自動車検査体制の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	12
自動車整備の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	12
救命講習会実施状況（福岡市消防局）	13
交通事故相談活動（福岡市市長室）	13
踏切道の立体交差化及び改良等（九州運輸局・鉄道事業者・福岡市道路下水道局）	
（1）構造改良	14
（2）踏切保安設備の整備	14
（3）踏切道の統廃合	14
（4）その他踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置	14
目標達成に向けた各区の施策	15

## 交通安全施設等整備事業（公安委員会）

（単位：千円）

種 別	事 業 名	事 業 の 実 績		
		事 業 量	事 業 費	
交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業	交通管制センター	○交通管制システム	1式	246,814
	信号機	○新 設 ○改 良	10基 214基	509,293
	道路標識	○大型式 ○路側式	4本 1,109本	49,082
	道路標示	○横断歩道（新設等） ○実線標示（新設等） ○図示標示（新設等）	1,407本 560箇所	99,455
合 計			—	904,644

## 交通安全施設等の現況（公安委員会）

区 分		数 量
信 号	集 中 式	731 基
	定 周 期 式	768 基
	押 ボ タ ン 式	503 基
	感 応 式	68 基
	一 灯 式	289 基
	踏 切	1 基
	計	2,360 基
道 路 標 識	大 型 式 標 識	1,591 本
	路 側 式 標 識	45,317 本
道 路 標 示	横 断 歩 道	9,688 本
	実 線 標 示	372 km
	図 示 標 示	26,803 箇所

（注）数値は平成30年度末現在

## 交通安全施設等整備事業（福岡国道事務所）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
横断歩道及び交差点改良	2箇所	138,000	2箇所	138,000
国道 3号 防護柵 区画線 視線誘導標 等	—	18,000	—	18,000
国道201号 防護柵 区画線 視線誘導標 等	—	5,000	—	5,000
国道202号 防護柵 区画線 視線誘導標 等	—	100,000	—	100,000

## 交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）

（単位：千円）

種 別		事業の計画		事業の実績	
		事業量	事業費	事業量	事業費
一 種	歩 道	6.3km	2,050,062	6.6km	2,556,628
	自 転 車 歩 行 者 道	2.6km	844,164	1.9km	471,666
	交 差 点 改 良	18箇所	738,738	4箇所	136,877
	立 体 横 断 施 設 等	4橋	66,000	1橋	55,161
	そ の 他（注1）	—	350,975	—	205,836
	小 計	—	4,049,939	—	3,426,168
二 種	防 護 柵	3.7km	95,700	2.8km	73,843
	照 明 灯	707基	184,000	830基	242,963
	反 射 鏡	245基	59,898	239基	54,743
	道 路 標 識	21基	89,600	143基	30,082
	区 画 線	44.8km	87,406	100.1km	101,376
	自 転 車 駐 車 場	6箇所	399,275	1箇所	603,714
	そ の 他（注2）	—	782,824	—	1,290,616
	小 計	—	1,698,703	—	2,397,337
合計	—	5,748,642	—	5,823,505	

（注1） その他は、路側のカラー化等の整備費。

（注2） その他は、歩道の交差点部段差解消や視覚障がい者誘導用ブロック整備費。

## 交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
特定交通安全施設等整備事業		2,508,827		2,530,894
地方単独交通安全施設等整備事業		3,239,815		3,292,611
計		5,748,642		5,823,505

## 交通安全施設等整備事業（福岡北九州高速道路公社）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
区画線	1,480m	300	1,480m	330
排水性舗装	—	—	—	—
事業費計	—	300	—	330

## 交通安全施設等整備事業（福岡市港湾空港局）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
臨港地区内区画線	8,071m	7,617	10,627m	3,356
臨港地区内防護柵	0m	0	166m	459
臨港地区内照明灯	24基	33,353	22基	30,348
臨港地区内道路標識	0基	0	0基	0

効果的な交通規制（公安委員会）

（１）交通事故抑止対策としての交通規制

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
最 高 速 度	2	1,760
駐 車 禁 止	6	2,430
一 方 通 行	2	190
一 時 停 止	30	—
右 折 等 禁 止	2	—
計	42	4,380

（２）交通規制の見直し

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
最 高 速 度	14	6,870
は み 出 し 禁 止	0	0
駐 車 禁 止	0	0
一 方 通 行	3	475
歩 行 者 用 道 路	9	1,065
計	26	8,410

（３）新設（改良）道路の安全対策としての交通規制

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
最 高 速 度	7	18,590
駐 車 禁 止	21	28,310
は み 出 し 禁 止	5	10,390
一 方 通 行	12	1,036
通 行 禁 止	5	2,190
一 時 停 止	25	—
右 折 等 禁 止	13	—
計	88	60,516

(4) 自転車通行の安全対策としての交通規制

種 別	事業の実績	
	区 間(箇所)	延 長 (m)
自転車専用通行帯	2	1,290
自転車歩道通行可	13	28,740
自転車歩道通行部分指定	5	2,040
計	20	32,070

駐車対策（福岡市道路下水道局）

「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受けた附置義務駐車施設や  
 駐車場法に基づく届出(路外)駐車場の整備

種 別	平成28年度(実績)		平成29年度(実績)		平成30年度(実績)	
	箇所数	施設台数	箇所数	施設台数	箇所数	施設台数
附 置 義 務 駐 車 施 設	62 (4)	3,662 (312)	73 (4)	2,548 (522)	70 (1)	1,239 (24)
届 出 駐 車 場	20	3,597	14	4,148	12	2,618
計	82	7,259	87	6,696	82	3,857

※届出駐車場の集計には、附置義務駐車施設に該当するものを除く。

( ) 内は、届出駐車場の内数。

交通需要マネジメントの推進（福岡市住宅都市局）

事業内容	実 施 状 況	事 業 主 体
自動車から公共交通機関への利用転換の促進	①モビリティ・マネジメントの実施 各区への転入者を対象に、地下鉄、バスのパンフレット等をセットにして配布。 小学生を対象に、副読本を活用した出前授業を実施。 ②パーク・アンド・ライド（P&R）の実施 商業施設等と連携した取り組みを実施。	① 西鉄、福岡市  ② 施設毎に協議会を設置している。

道路使用の適正化

路上における違法掲出広告物(はり紙、はり札、立看板)の除却作業

(福岡市住宅都市局)

(単位：千円)

事業内容		事業の計画		事業の実績		
		事業量	事業費	事業量	事業費	
除去作業	委託	徒歩による除却	延 696回	(委託料) 4,237	延 696回	(委託料) 3,570
		トラックによる除却	延 422日	(委託料) 18,714	延 454日	(委託料) 17,493
		路上違反広告物追放 推進団体への支援		(ボランティア隠蔽) 73	延2,105人	(ボランティア隠蔽) 58
		福岡市路上違反広告 物問題対策協議会		(事業負担金) 0		(事業負担金) 0
		計		23,024		21,121

自転車駐車対策

市営自転車駐車場整備状況(福岡市道路下水道局)

事業の計画		事業の実績		平成30年度末まで	
設置箇所	収容台数	設置箇所	設置箇所	収容台数	設置箇所
1	375	4	657	138	51,707
(1)	(375)	(1)	(375)	(95)	(42,220)

\* ( ) 内は、有料自転車駐車場の数で内数



子供の遊び場等の確保

(1) 街区公園等の整備 (福岡市市民局・住宅都市局)

公園種別	事業の計画		事業の実績	
	箇所	面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)
幼児公園	647	216,591	647	216,591
街区公園	708	1,581,933	708	1,581,933
近隣公園	75	1,207,850	75	1,207,850
地区公園	10	518,245	10	518,245
総合公園	9	2,640,674	9	2,640,674
運動公園	6	993,023	6	993,023
墓園	3	596,637	3	596,637
国営公園	1	3,639,105	1	3,639,105
都市緑地	185	946,089	185	946,089
緑道	23	222,795	23	222,795
児童広場	43	17,695	43	17,695
地域交流広場	15	36,728	15	36,728
計	1,725	12,617,365	1,725	12,617,365

(2) 校庭開放 (福岡市こども未来局)

(単位：千円)

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
昼間校庭開放事業	138箇所	65,768	139箇所	52,984
放課後等の遊び場づくり事業 (わいわい広場)	125校	365,017	126校	334,686

危険物運搬車両等の立入検査及び危険物取扱者保安講習 (福岡市消防局)

事業内容	事業の計画	事業の実績
立入検査	2時間	2時間
講習会	42時間	42時間

児童・生徒・高齢者等に対する交通安全教育

(1) 交通安全教室（福岡市市民局）

区 分	幼児	幼児・保護者	小学生	中学生	高校生	特別支援学校
回 数	292	6	293	57	19	4
参加人員	35,522	460	30,632	17,550	13,171	508
区 分	大学生	専門学校生	留学生	保護者	高齢者	一般
回 数	6	1	7	5	86	40
参加人員	1,029	44	241	252	3,217	4,328
区 分	計					
回 数	816					
参加人員	106,954					

(2) 保健・安全教育担当者連絡会（福岡市教育委員会）

（単位：千円）

事 業 内 容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
保健・安全教育担当者連絡会	年1回	0	年1回	0

(3) 子どもの交通安全に関する配付物（福岡市市民局）

（単位：千円）

品 名	配 布 対象者	事業の計画		事業の実績	
		事業量	事業費	事業量	事業費
1 黄 色 い 帽 子	小学新1年生	15,000個	5,250	15,000個	5,006
2 交通安全ランドセルカバー	〃	15,000枚	2,250	15,000枚	1,734
3 子どもたちのセーフティプラン	市立小学新1年生 市立小学新4年生 市立中学新1年生	市HPにて 公表	—	市HPにて公表	—

事業内容	事業の計画		事業の実績		備考	
	事業量	事業費	事業量	事業費		
市政だより	—	—	3回	—	飲酒運転撲滅 自転車安全利用の推進	
ホームページ	随時	—	随時	—	飲酒運転撲滅 自転車安全利用の推進 高齢者の交通安全対策 等	
DVD ビデオ貸出し	—	—	64回	—		
ポスター・チラシ などの啓発物	—	—	ポスター ・チラシ等 275,200枚  啓発物 14,600個	1,684	飲酒運転撲滅 自転車安全利用の推進 四季の交通安全運動 等	
飲酒運転撲滅啓発	TVCM・Youtube・ デジタルサイネージ	随時	—	随時	—	飲酒運転撲滅
	新聞広告	—	—	随時		

自動車事故対策機構による自動車運送事業等に従事する運転者に対する適性診断  
 (九州運輸局福岡運輸支局)

事業の内容	事業の計画		事業の実績	
運転者適性診断	定期	13,200名	定期	12,456名
	初任	6,430名	初任	6,319名
	適齢	3,333名	適齢	3,086名
	特定	84名	特定	108名
	計	23,047名	計	21,969名

自動車運送事業者の行う運行管理等の充実 (九州運輸局福岡運輸支局)

事業の内容	事業の計画		事業の実績	
	実施時期	受講予定人員	実施時期	受講人員
運行管理者等一般講習	平成30年7月～ 平成31年2月	24回 2,933名	平成30年7月～ 平成31年2月	25回 3,107名

気象情報等の充実（福岡管区气象台）

事業内容	実施状況
天気予報・ 季節予報の発表	日々の天気予報 毎日発表（分布予報・時系列予報）
	週間天気予報 毎日発表
	1か月予報 毎週木曜日発表
	3か月予報 毎月25日頃発表
	暖候期予報 2月25日発表
	寒候期予報 9月25日発表
気象説明会	3か月予報発表日（毎月1回）及び暖・寒候期予報発表日（2月・9月） その他随時実施 場所：福岡管区气象台、参加人員：毎回約10名（報道機関等） 合計 14回
	部外における気象関係の講演、説明会等の回数 合計 46回
防災気象連絡会	平成30年5月29日 場所：福岡市民防災センター 参加人数：74名
台風説明会	5回実施（場所：福岡管区气象台 防災連絡室） ・7月2日（台風第7号） 出席機関及び人数- 20機関42名 ・7月27日（台風第12号） 出席機関及び人数- 19機関25名 ・8月20日（台風第19号） 出席機関及び人数- 22機関35名 ・9月28日（台風第24号） 出席機関及び人数- 21機関28名 ・10月4日（台風第25号） 出席機関及び人数- 22機関30名
気象警報・ 注意報等の 発表	・特別警報発表回数 福岡市 1回 ・警報発表回数 福岡市 11回 ・注意報発表回数 福岡市 244回 ※個々の警報・注意報発表回数をカウントする ・御笠川の洪水予報の回数 洪水警報0回 洪水注意報1回 ・土砂災害警戒情報 1回 ※発表から解除までを1回とカウントする。
津波警報・注意報の 発表	津波予報区「福岡県日本海沿岸」に発表した津波警報・注意報 警報発表回数 0回 注意報発表回数 0回
緊急地震速報の 発表	予報区域「福岡県福岡」に発表した緊急地震速報（警報） 警報発表回数 0回
地震情報	福岡市内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数 地震情報 9回
気象情報等の発表	福岡県気象情報（高温注意情報を除く） 119回 大雪に関する緊急発表（国土交通省地方支分部局等との連携による） 0回
資料の作成・配付	「九州・山口県 防災気象情報ハンドブック2018」 毎年1回発行 配布機関：防災機関、報道機関等 配布数：420部 平成30年5月発行

自動車検査体制の充実（九州運輸局福岡運輸支局）

事業内容	事業の計画	事業の実績
指定自動車整備工場 立入監査	1,071工場に対して 1工場年1回の立入監査	336工場に対して 1工場年1回の立入監査
自動車検査員研修	実施時期 平成31年1月～2月  実施回数 20回 研修予定人員 3,600名	実施時期 平成31年1月～2月  実施回数 20回 研修人員 3,939名

自動車整備の充実（九州運輸局福岡運輸支局）

事業内容	事業の計画	事業の実績
整備主任者研修	実施時期 平成30年10月～11月  実施回数 21回 研修予定人員 3,800名	実施時期 平成30年10月～11月  実施回数 21回 研修人員 3,874名
整備管理者研修	実施時期 平成30年7月～平成31年3月  実施回数 8回 研修予定人員 2,600名	実施時期 平成30年7月～平成31年3月  実施回数 8回 研修人員 2,465名

平成30年中 救命講習会実施状況（福岡市消防局）

講習別 区別	応急手当普及員講習		上級救命講習		普通救命講習		救命入門コース		救急講習	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
東	—	—	—	—	22	708	8	232	—	—
博多	—	—	—	—	33	1,014	5	92	—	—
中央	—	—	—	—	5	132	3	92	—	—
南	—	—	—	—	8	208	6	153	—	—
城南	—	—	—	—	13	334	5	104	1	12
早良	—	—	—	—	17	469	3	90	—	—
西	—	—	—	—	21	559	9	173	1	100
本部	16	463	18	539	143	4,950	72	2,579	25	3,541
福岡市民 防災センター	—	—	—	—	—	—	—	—	381	11,151
計	16	463	18	539	262	8,374	111	3,515	408	14,804

※応急手当普及員講習（24時間講習、認定証交付）

上級救命講習（8時間講習、修了証交付）

普通救命講習（3時間講習、修了証交付）

救命入門コース（90分講習、参加証交付）

救急講習（90分未満の講習、修了証なし）

交通事故相談活動（福岡市市長室）

事業内容		事業の計画	事業の実績
		事業量	事業量
交通事故相談所の運営		500件	356件
研修		3回	3回
広報	ふくおか市生活ガイド	65,000部	65,000部
	市民相談一覧表	6,000部	6,000部
	交通事故相談者のためのパンフレット	500部	500部
	市ホームページ	常時	常時

踏切道の立体交差化及び改良等（九州運輸局・鉄道事業者・福岡市道路下水道局）

（１）構造改良

（福岡県内 単位：千円）

事業者名	計画の有無	事業の計画		事業の実績		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	
福岡市	有	1	3,000	-	-	和白4号
九州旅客鉄道	有	2	220,341	0	28,882	荻浦、酪農
西日本鉄道	有	1	100,600	新設1箇所	100,600	麦野 仮踏切

（２）踏切保安設備の整備

（福岡県内 単位：千円）

事業者名	事業内容	事業の計画		事業の実績		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	
西日本鉄道	障害物検知装置の整備	2	29,600	1	27,759	三沢8号
	踏切支障報知装置 操作器の整備	21	16,500	20	19,848	五条3号他19箇所

（３）踏切道の統廃合

（福岡県内 単位：千円）

事業者名	計画の有無	事業の計画		事業の実績		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	
九州旅客鉄道	有	1	3,950	1	3,950	早田

（４）その他踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置

- 踏切道通行者に対し踏切支障時における緊急装置・措置の周知徹底 (JR九州)
- 交通安全運動期間中に、模擬踏切道によるトリコ脱出講習会の開催 (JR九州)
- 2月3日を踏切の日とした踏切事故防止イベントを開催 (JR九州)
- 自動車事故対策機構主催の運行管理者講習にて踏切に関する講話の実施 (JR九州)
- 交通安全協会主催の安全運転管理者講習会にて踏切に関する講話の実施 (JR九州)
- 踏切通行者、車に対し現地指導の実施 (西日本鉄道)
- ポスター掲示及び協力要請文による活動 (西日本鉄道)
- 交通安全協会主催の安全運転管理者講習会にて踏切に関する講話の実施 (西日本鉄道)



種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策	
行 政 区	東 区	
<b>1 施策の概要</b>		
<p>区の抑止目標達成に向け、平成30年度は下記の施策を実施し、東警察署、東福岡交通安全協会、東区交通安全推進協議会などの関係機関と共に、交通事故防止に取り組んだ。</p>		
(1) 交通安全思想の普及徹底		
ア 広報啓発活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四季の交通安全運動キャンペーン</li> <li>・ 飲酒運転撲滅キャンペーン</li> <li>・ 自転車の安全利用キャンペーン</li> <li>・ 交通安全のぼり旗、ポスターの掲示</li> <li>・ 交通安全啓発ビデオ、DVDの貸出</li> <li>・ 交通安全教室</li> </ul>		
イ 交通安全教室実施結果		
	対象	実施回数
	幼児	67回
	幼児と保護者	2回
	小学生	53回
	中学生	8回
	留学生	1回
	保護者	1回
	高齢者	3回
	計	135回
	参加人員	8,606人
		174人
		5,773人
		1,603人
		61人
		82人
		143人
		16,442人
(2) 交通安全施設整備		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道、路面標示、カーブミラー、区画線等の新設、補修</li> <li>・ 関係機関との連絡調整</li> </ul>		
<b>2 問題点及び課題</b>		
<p>平成30年中の東区における状況として、交通事故発生件数は1,643件で前年比261件減、死者数10人で前年比5人増、傷者数2,074人で前年比400人減であった。</p> <p>全体的に減少傾向ではある中、死者数については増加した経緯があり、今後も引き続き交通事故防止に向けた取り組みを積極的に展開していく必要がある。</p>		
(1) 四季の交通安全キャンペーンや飲酒運転撲滅キャンペーンに職員が積極的に参加する。 (目標：東区職員600人参加)		
(2) 東区役所主催の飲酒運転撲滅キャンペーンの実施 (花火大会、放生会、高齢者乗車券、四季の交通安全キャンペーンなど)		
(3) 交通安全教室、講習会、研修会の実施		

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	博 多 区

## 1 施策の概要

### (1) 交通安全思想の普及徹底

#### ア 啓発活動

- ・交通安全教室の実施（保育園（所）、幼稚園、小学校、高齢者、留学生等）
- ・四季の交通安全啓発キャンペーン（JR博多駅広場等）（4回 1,850人）
- ・セーフティステーション（福岡国際会議場前）（2回 1,000人）  
     〃（福岡空港国内線ターミナルビル）（4回 1,720人）
- ・自転車安全利用キャンペーン（毎月8日 120人）  
     ・チャイルドシート着用講習会（毎月第2月曜 205人）
- ・飲酒状態体験ゴーグル貸し出し（9回：1,284人が利用）

#### イ 交通安全教室等実施結果

対象	実施回数	参加人員
幼児	43回	3,856人
小学生	36回	3,022人
中校生	6回	1,122人
高校生	2回	1,060人
高齢者	8回	336人
一般	12回	205人
計	107回	9,601人

#### ウ 広報活動

- ・交通安全のぼり掲示（交通安全期間中）
- ・交通死亡事故多発のチラシの校（地）区回覧（随時）
- ・市政だより区版への掲載・区役所内でのアナウンス（交通事故防止に関する呼びかけ）

#### エ 子ども、高齢者への交通安全推進活動

- ・高齢者の実践型ドライバー教室の実施  
     （西鉄自動車学校 5/14 40人、12/10 36人）
- ・交通安全施設の点検・整備促進（随時）

### (2) 道路交通環境の整備

#### ア 道路交通環境の整備

- ・歩道、カーブミラー、ガードレール、標識等
- ・スクールゾーン内の交通安全施設の点検  
     （7/2 東住吉校区、10/4 千代校区、11/2 吉塚校区、1/28 堅粕校区、2/5 東吉塚校区、  
     2/13 住吉小校区）

## 2 問題点及び課題

平成30年中の博多区における交通事故発生件数は2,044件で前年比322件減、負傷者数は2,571人で前年比390人減、死者数は3人で前年比3人減となっている。

今後も、更なる減少に向けて、継続させる必要がある。

- (1) 高齢者の交通事故防止のため、校区単位での高齢者交通安全教室の強化を行う。
- (2) 子供の歩行中の事故、自転車通行中の事故に対し、教室の強化・校区及び学校への啓発活動を行う。
- (3) 交通安全施設整備を充実させ、事故防止に努める。
- (4) 交通ルールへの遵守・マナー向上のために周知徹底を強化する。
- (5) 未だに起きている飲酒運転の撲滅のために、イベント内での飲酒ゴーグル体験など啓発を継続させる。

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策																															
行 政 区	中 央 区																															
<b>1 施策の概要</b>																																
<p>区の抑止目標の達成に向け、校区交通安全推進委員会、警察、交通安全協会等の関係機関が一体となり、交通安全思想の普及と事故防止を図った。</p> <p>(1) 交通安全思想の普及</p> <p>ア 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四季の交通安全運動期間中に街頭キャンペーンを実施。</li> <li>・ 春の交通安全県民運動及びNCC活動5周年記念行事を実施。(天神地下街)</li> </ul> <p>イ 交通安全教室の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>実施回数</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>29回</td> <td>3,132人</td> </tr> <tr> <td>幼児と保護者</td> <td>2回</td> <td>213人</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>29回</td> <td>3,046人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>5回</td> <td>1,398人</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>2回</td> <td>2,020人</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>2回</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>5回</td> <td>182人</td> </tr> <tr> <td>留学生</td> <td>1回</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>75回</td> <td>10,111人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政だより中央区版や区役所1階のコミュニティビジョンを活用した広報活動を実施。</li> </ul> <p>エ 子どもと高齢者の交通事故防止活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月27日「中央区交通安全の日」に、全校区で児童等の登校指導を実施。</li> <li>・ 通学路上での児童の飛び出し事故の防止のため、注意を喚起する路面シールを貼付した。</li> </ul> <p>オ 自転車の安全利用に関する推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月8日の自転車マナーアップの日に、地域と共働したキャンペーンを実施。</li> </ul> <p>カ 飲酒運転撲滅に関する活動</p> <p>中央区商店街連合会や専門学校、企業、地域等と共働で飲酒運転撲滅キャンペーンを実施。</p> <p>(2) 道路交通環境の整備</p> <p>ア 地域からの道路環境整備の改善要望を受け、速やかな施設の整備を行った。</p> <p>イ 中央区内のスクールゾーン路面標示の総点検を行い、補修と新規設置を行った。</p>			対象	実施回数	参加人員	幼児	29回	3,132人	幼児と保護者	2回	213人	小学生	29回	3,046人	中学生	5回	1,398人	高校生	2回	2,020人	一般	2回	82人	高齢者	5回	182人	留学生	1回	38人	計	75回	10,111人
対象	実施回数	参加人員																														
幼児	29回	3,132人																														
幼児と保護者	2回	213人																														
小学生	29回	3,046人																														
中学生	5回	1,398人																														
高校生	2回	2,020人																														
一般	2回	82人																														
高齢者	5回	182人																														
留学生	1回	38人																														
計	75回	10,111人																														
<b>2 問題点及び課題</b>																																
<p>平成30年中の中央区内の交通事故発生件数は1,268件(前年比-125)、死者数3人(前年比+2)、傷者数1,489人(前年比-152)であり、前年と比較して発生件数・傷者数は減少しているが、死者数は増加している。</p> <p>自転車関連の交通事故発生件数は321件(前年比-72)で、全事故件数の25.3%(全市では21.1%)を占めているため、自転車安全利用の推進が課題となっている。</p> <p><b>【重点目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横断歩道マナーアップ運動の推進</li> <li>・ 自転車マナー向上の推進・自転車事故の防止</li> <li>・ 高齢者交通安全の推進</li> <li>・ 飲酒運転撲滅運動</li> <li>・ 交差点での交通事故防止</li> </ul>																																

種 目	各区の抑止目標達成に向け実施した施策
-----	--------------------

行 政 区	南 区
-------	-----

**1 施策の概要**

(1) 交通安全思想の普及徹底

ア 啓発活動

- ・ 交通安全教室の実施(幼稚園, 保育園, 小学校, 校区など)
- ・ 交通安全推進街頭キャンペーン(西鉄大橋駅及び高宮駅周辺)
- ・ 飲酒運転撲滅キャンペーン(大橋駅西口)
- ・ セーフティステーション(西鉄大橋駅周辺)
- ・ 高齢者交通安全キャンペーン(区内スーパー)
- ・ FM福岡飲酒運転撲滅ハンドルキーパー運動(大橋駅西口)

※ 交通安全教室開催実績

対象	実施回数	参加人員
幼児	44回	5,232人
小学生	63回	6,053人
中学生	13回	2,650人
高校生	5回	2,823人
特別支援学校	3回	238人
保護者	3回	110人
高齢者	11回	510人
一般	2回	100人
計	144回	17,716人

イ 広報活動

- ・ のぼり・横断幕・懸垂幕の掲示
- ・ 交通死亡事故多発のチラシ, 交通安全新聞の全校区回覧
- ・ 市政だより区版への掲載
- ・ 交通安全啓発パネル展
- ・ 区役所ロビー内コミュニティビジョンによる啓発

ウ 子ども, 高齢者への交通安全推進活動

- ・ 子ども達を守ろう! 5000人大作戦!! (各校区)
- ・ 三世代自転車安全教室の実施
- ・ 高齢者交通安全教室の実施

(2) 道路交通環境の整備

ア 通学路の歩車分離事業

- ・ 歩道の設置が困難な通学路の交通安全推進のため, 路側帯のカラー化を実施

イ 交通安全施設整備

- ・ 歩道, 路面標示(一時停止強調), カーブミラー, 防護柵, 照明灯, 区画線等の新設及び補修を実施

**2 問題点及び課題**

平成30年中の南区における交通事故発生状況は, 発生件数1,369件(前年比68件減), 死者数0人(前年比2人減) 負傷者数1,664人(前年比68人減) という状況になっている。特に交通事故発生件数に占める自転車事故の割合が増加している。

- (1) 自転車の夜間無灯火走行や並列走行等交通マナー, 違法駐車等に対し, 苦情が多く寄せられていることから, さらに交通安全の啓発を行う必要がある。
- (2) 交差点及びその付近の交通事故が多発していることから, 交差点付近の交通環境整備を推進するとともに, 交通マナーの啓発に努める必要がある。

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策
行 政 区	城 南 区

## 1 施策の概要

### (1) 交通安全思想の普及徹底

#### ア 啓発活動

- 交通安全教室の実施（実績）

対象	実施回数	参加人員
幼児	25回	3,551人
小学生	22回	2,275人
中学生	5回	2,770人
高校生	1回	1,300人
保護者	1回	60人
高齢者	10回	375人
一般	1回	25人
計	65回	10,356人

- 新入学児童交通安全一斉キャンペーン
- 交通安全運動キャンペーン（春、夏、秋、年末）
- 飲酒運転撲滅キャンペーン
- 高齢者交通安全・防犯啓発

#### イ 参加・体験活動

- 自転車教室の実施

#### ウ 広報活動

- 懸垂幕、のぼり、ポスターの掲出

#### エ 各校区内交通安全活動の推進

- 各校区における交通安全活動は、校区交通安全推進団体が校区自治協議会との連携を図り推進する（チラシ回覧・配布、横断歩道誘導、のぼり・看板掲出、ポスター掲示等）

### (2) 道路交通環境の整備

#### ア 交通安全施設の整備（歩道の整備、道路照明灯の設置、道路反射鏡の設置等）

#### イ 道路の新設・改良（道路の舗装及び側溝の新設・補修）

#### ウ スクールゾーンの路面標示設置

## 2 問題点及び課題

城南区における平成30年の交通事故発生件数は534件で、交通事故発生件数の抑止目標である610件以下に対し76件下回り、抑止目標を達成した。

しかし、交通事故は依然として後を絶たず、引き続き交通安全施策を推進する必要がある。

また、下記の問題点・課題の解決に向けた取り組みが必要である。

- 無灯火やスピード走行、迷惑駐輪等、自転車利用者のマナーは依然として改善されていない。自転車利用者のマナーアップの為、毎月8日の「自転車安全利用の日」をはじめとした啓発活動や警察による指導等を強化する必要がある。
- 幹線道路から生活道路への通過交通量の増加等により、交差点及びその周辺における出会い頭の事故が後を絶たない。交通管理者と一体となって、事故多発地点における交通安全施設の重点整備に努める必要がある。
- 子どもと高齢者の交通事故が増加傾向にあるので、交通安全教室を通して、更なる交通安全の推進を図る必要がある。

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策		
行 政 区	早 良 区		
<b>1 施策の概要</b>			
(1) 交通安全思想の普及徹底			
ア 啓発活動			
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教室の実施（保育所（園）、幼稚園、小・中・高等学校、高齢者等）</li> <li>「自転車安全利用の日」街頭キャンペーン（毎月8日）</li> <li>春の交通安全運動啓発物支援（4月中旬、各校区にてキャンペーン実施）</li> <li>夏の交通安全運動啓発物支援（7月中旬、各区にてキャンペーン実施）</li> <li>スクエアード・ストレイト交通安全教室（5/7(月) 百道中学校 参加者850名）</li> <li>夏休み自転車教室（夏休み期間中 対象者：小学生 実施校区2校区 参加者206名）</li> <li>秋の交通安全運動啓発物支援（9月下旬、各校区にてキャンペーン実施）</li> <li>年末の交通安全街頭キャンペーン（12/27(木)西新交差点）</li> </ul>			
イ 交通安全教室実施結果			
	対象	実施回数	参加人員
	幼児	45回	6,822人
	幼児と保護者	0回	0人
	小学生	51回	4,902人
	中学生	7回	2,982人
	高校生	5回	2,528人
	特別支援学校	0回	0人
	大学生	3回	619人
	高齢者	12回	452人
	一般	0回	0人
	計	123回	18,305人
ウ 広報活動			
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全啓発のぼり・横断幕等の掲出</li> </ul>			
エ 子ども、高齢者への交通安全推進活動			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものための交通安全指導者講習会の実施（2/22(金)交通安全講習・救急救命講習 参加者31名）</li> <li>高齢者へ交通安全啓発チラシを配布</li> </ul>			
(2) 道路交通環境の整備			
ア 交通安全施設整備			
<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道、路面標示（一時停止強調）、カーブミラー、防護柵、照明灯、区画線等の新設及び補修を実施。</li> <li>歩道の設置が困難な通学路の交通安全推進のため、路側帯のカラー化を実施。</li> </ul>			
イ 安全安心まちづくり事業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>田隈・田村校区において、安全で安心して快適に暮らせるまちを目指して、地域・行政・警察の共働により、問題点や危険箇所について対応策を検討し、地域と共働したまちづくりを行った。</li> </ul>			
<b>2 問題点及び課題</b>			
平成30年中の早良区における交通事故発生件数は851件（前年比215件減）で、死者数3名（前年比2名増）、負傷者数1,052名（前年比258名減）であった。			
(1) 子どもに対しては、発達段階に応じた交通安全教室を実施するとともに、指導者や保護者に対しての研修会実施していく。			
(2) 死者数3名は全て高齢者であったため、高齢者を対象とした交通安全教室の開催や、交通安全キャンペーン等を行い、啓発を強化していく。			
(3) 自転車利用者の乗車マナーの低下が目立ち、自転車が加害者となる交通事故も増え、社会問題となってきているため、自転車利用者を対象とした交通安全教室や無灯火ゼロキャンペーン等を各校区で行い、自転車乗車マナーの向上を推進していく。			

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策																															
行政 区	西 区																															
1 施策の概要																																
(1) 交通安全思想の普及徹底																																
ア 安全安心マップの作成	<p>交通事故が多発する交通危険箇所や、ひったくり等の犯罪危険箇所、災害時の避難所などを示した「安全安心マップ」を校区自治協議会を主体とし、各校区内の各種団体や警察署と連携して作成し各世帯に配布、交通事故等の防止へ向け注意を喚起した。(平成30年度対象3校区(石丸校区、金武校区、北崎校区)実施)</p>																															
イ 交通安全教室の実施	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>39回</td> <td>4,323人</td> </tr> <tr> <td>幼児と保護者</td> <td>2回</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>26回</td> <td>4,566人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>9回</td> <td>3,443人</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>4回</td> <td>3,440人</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>1回</td> <td>270人</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>12回</td> <td>485人</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>3回</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>96回</td> <td>16,790人</td> </tr> </tbody> </table>		対象	実施回数	参加人数	幼児	39回	4,323人	幼児と保護者	2回	73人	小学生	26回	4,566人	中学生	9回	3,443人	高校生	4回	3,440人	特別支援学校	1回	270人	高齢者	12回	485人	一般	3回	190人	計	96回	16,790人
対象	実施回数	参加人数																														
幼児	39回	4,323人																														
幼児と保護者	2回	73人																														
小学生	26回	4,566人																														
中学生	9回	3,443人																														
高校生	4回	3,440人																														
特別支援学校	1回	270人																														
高齢者	12回	485人																														
一般	3回	190人																														
計	96回	16,790人																														
ウ 幼児交通安全指導者研修会	<p>対象：幼稚園(保育園・所)長、保育士、保護者 参加者：52名</p>																															
エ 春、夏、秋、年末の交通安全運動キャンペーンを実施	<p>交通安全運動期間中にキャンペーンを実施</p>																															
オ 校区交通安全街頭キャンペーンを実施	<p>校区ごとに交通安全運動期間中にキャンペーンを実施した。</p>																															
カ のぼり旗、ポスター、チラシ等による広報を実施	<p>区役所周辺等への、のぼり旗の設置やチラシの配布などで区民に広報</p>																															
キ 飲酒運転撲滅キャンペーンを実施した。	<p>(毎月25日(土日祝日の場合はその前の平日) 姪浜駅にて)</p>																															
ク 自転車安全利用の日キャンペーンを実施																																
(2) 道路交通環境の整備																																
ア 一時停止強化事業	<p>交差点での出会い頭等の事故が多発している区域を年次的に整備し、事故防止を図っている。(外側線や交差点クロスマーク等の路面標示)</p>																															
イ 交通安全施設の新設・補修	<p>歩道、区画線、防護柵、反射鏡、標識、照明灯等及びスクールゾーン路面標示の新設、補修</p>																															
ウ 交通安全施設等に関する要望事項の調査及び警察との連絡調整																																
エ 自転車放置禁止区域での放置自転車の撤去																																
オ 通学路ストップマーク貼付事業	<p>各校区の小学生の通学路を中心に、交差点などの交通危険箇所に路面シール、壁面標識を貼付し、交通事故の防止へ向け注意を喚起した。</p>																															
2 問題点及び課題																																
	<p>平成30年中の西区の交通事故発生件数は1,112件で前年比79件減、死者数4人で前年比1人減、負傷者数1,392人で前年比96人減であった。</p>																															
(1)	<p>高齢者が被害者となる交通事故が増加しているため、今後も継続して対策を行っていく。</p>																															
(2)	<p>交差点での事故が多発していることから、なお一層の交通環境整備を推進していく。</p>																															